特別講演会

「松花堂昭乗、ピュアで
キュートな書画のひみつ」

日時：平成29年12月３日(日)
午後１時30分より
講師：門脇むつみ(美術史家)
〈聞き手〉川畑　薫(当館学芸員)
会場：松花堂美術館　講習室
料金：無料
定員：80名(要申込)
申込方法：お電話またはFAX、ご来館にて
お申し込みください

ギャラリートーク

(学芸員による展示解説)

11月４日(土)、11日(土)、18日(土)
23日(木祝)、12月９日(土)
各日午前11時より展示室にて
＊申込不要(要観覧料)

宇治市源氏物語ミュージアム
×
八幡市立松花堂庭園・美術館

相互割引実施

〈期間限定〉９月13日(水)～12月10日(日)
どちらか１館の半券呈示で他館の観覧料が団体割引となります

[松花堂庭園(国指定史跡・名勝)]

[開園] 午前９時～午後５時
(入園は4時30分まで)
[休園] 毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合は
翌平日)
[料金] 一　般　400円
学　生　300円
こども　200円
〈20名様以上団体２割引〉
●ボランティアガイドによる庭園案内／無料(要予約)

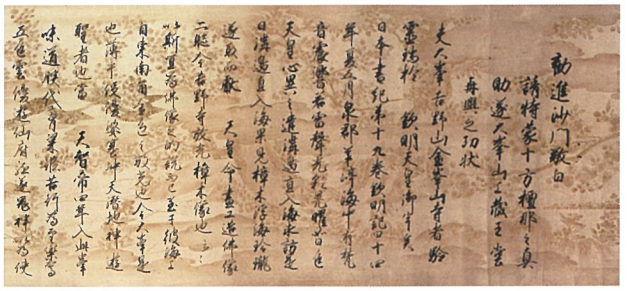
【交通のご案内】
○京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅で京阪電車に乗換え(大阪方面)
○京阪電車「八幡市」駅または「樟葉」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ
○JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ

八幡市立松花堂庭園・美術館
〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1
TEL 075-981-0010
FAX 075-981-0009
http://www.yawata-bunka.jp

[京都 吉兆 松花堂店]

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元の野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。
※ご予約は吉兆松花堂店〔075-971-3311〕まで

1


2

昭乗の書は、穏やかな雰囲気の中に、
凛とした「美しさ」を秘めています。
いわゆる「寛永の三筆」のひとりにあげられる腕の持ち主です。

3

市制施行40周年記念・開館15周年 特別展

松花堂昭乗、書画のたのしみ

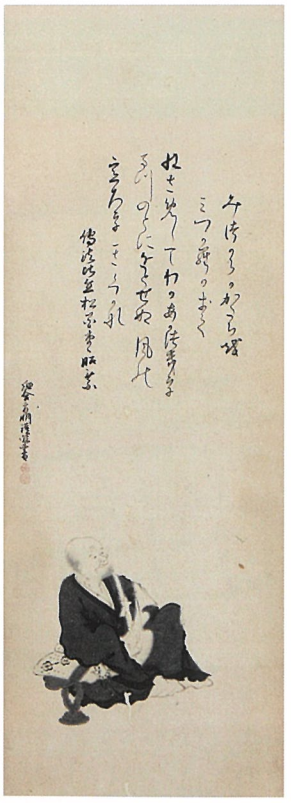
―麗しき筆あと、愛らしき布袋―

2017. 10/28(土)～12/10(日)

前期：10/28(土)～11/19(日)　後期：11/21(火)～12/10(日)　＊会期中展示替えを行います

江戸時代の頃、石清水八幡宮を峰に頂く男山(京都府八幡市)の中腹に、瀧本坊というお寺がありました。そこにひとりの機知に富むお坊さんがいました。その人は、戦国の世が終わりを迎えようとする天正12年(1584)に生まれ、江戸時代初期に至る転換期をしなやかに生きました。名を「昭乗」といい、晩年「松花堂」という草庵を構えたことから、松花堂昭乗と呼ばれます。

真言密教を修する僧であり、茶の湯を愛し、書画に優れた昭乗は、混沌とした時代にあって、知識と教養がもたらす新たな世界を先導した人物のひとりです。このたびの展覧会では、穏やかなヒューマニスト・松花堂昭乗の書画の魅力に迫ります。


4

5

昭乗の友人・佐川田昌俊は、
昭乗の画について
「梅花を画くに匂いあるがごとく、
人形を図すに眼動くに似たり」
と評しました。

7

6

1 松花堂昭乗 画、沢庵宗彭 賛「一休像」(個人蔵)〈通期〉
2 松花堂昭乗 筆「大峯山蔵王堂勧進帳」(金峯山寺蔵)〈通期〉
3 松花堂昭乗 画、玉室宗珀・沢庵宗彭 賛「踊布袋図」(個人蔵)〈通期〉
4 細合半斎 筆「松花堂昭乗自画像写」(松花堂美術館蔵)〈後期〉
5 松花堂昭乗 筆「竹四十雀図」(個人蔵)〈前期〉
6 松花堂昭乗 筆「梔小禽図」(個人蔵)〈後期〉
7 高麗茶碗 銘「白清」(八幡名物)(個人蔵)〈通期〉